

博物館体験プログラム

改訂版



新潟県立博物館

栃木県立博物館体験プログラム実施要項 (ホームページ用)

1 目的

博物館の資料を活用した体験型活動を行うことで、博物館での活動をより多様化する。学校を中心とする教育関係機関や地域団体等と連携を図りながら、博物館についての理解を深め、館利用の促進を図る。また、生涯にわたる学習の場としての博物館施設に親しむ素地を培う。

2 プログラムの対象団体

学校・学校教育関係団体・社会福祉施設・社会教育施設等を原則とします。

3 実施期間

申込により随時実施します。ただし、都合により実施できない場合もありますのでご了承ください。

4 実施場所

博物館で実施します。また、県内の学校・施設に限り、学校・施設に向いて実施することもできます(出前授業)。詳しくは、申込方法を参照のうえお問い合わせください。

5 諸経費

無料です。(学校・施設に向いて実施する場合、一部のプログラムは材料費が必要です。)

6 実施プログラム

～体験プログラム～

- ① 貴族のくらし【十二単と狩衣の着付け体験が中心です】
 - ② 武士と鎧【鎧の着付け体験が中心です】
 - ③ 昔をしらべる【石臼体験が中心です】
 - ④ 昔をしらべる【火起こし器体験が中心です】
 - ⑤ 昔をしらべる【蓄音器を使い昔のレコードを再生します】
 - ⑥ 昔をしらべる【水桶や背負い籠を使ってものを運びます】
 - ⑦ 化石ひろい【貝殻やウニのとげなどの小さな化石を拾い出します】
 - ⑧ 火山灰と鉱物【鹿沼軽石に含まれる鉱物を観察します】
- ・活動内容の詳細は、各プログラムの展開を参照してください。
 - ・各プログラムは原則 40 名程度で、所要時間は 20～30 分程度(「貴族のくらし」は 40 分～60 分)で実施します。(40 名を超える場合はご相談ください。)
 - ・展開等について先生方のご要望がありましたらご相談ください。
 - ・テーマ展「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」の解説に含まれる簡単な道具の体験と、「博物館体験プログラム」でおこなう昔の道具体験は別のものですので御注意ください。

～特別体験プログラム～

- ① 勾玉づくりに挑戦!
 - ② 化石発掘
- ・特別体験プログラムは、展示解説とのセットになります。(年間受入れ可能数に限りがあります。)
 - ・プログラムは原則 40 名以下で、所要時間は 90～120 分程度で実施します。(展示室の見学時間を含む。)
 - ・活動内容等の詳細は、博物館までお問い合わせください。

7 申込方法

来館希望日の1か月程度前までに電話で予約の後、博物館ホームページより「観覧料等免除申請書」と「展示解説等事前申込書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ来館日の2週間前までに FAX にてお申し込みください。

各学校での実施（出前授業）を希望される場合は、実施希望日の1か月程度前までに電話で予約の後、博物館ホームページより「物品無償(減額)借受申請書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ実施日の2週間前までに FAX にてお申し込みください。いずれの場合も、申し込みが重なった場合は先着順となりますので、早めの申込みをおすすめいたします。

8 連絡・申込先

栃木県立博物館 教育広報課 〒320-0865 宇都宮市睦町 2-2
Tel028-634-1312 Fax028-634-1310

対象	小・中学校	歴史	貴族の暮らし
活用できる資料と解説	十二単 	束帯   狩衣	

博物館での学習例

①十二単や狩衣の着付けを見学し、平安時代の貴族の暮らしについて話を聞く。

- ・枚数、色彩、文様を確認する
- ・正装と普段着の違い

【補助資料：狩衣，束帯】

- ・化粧や食事，住まいについて

【補助資料：食事（写真パネル），住居（写真パネル）】

- ・平安時代の文化について（仮名文字の誕生と文学作品，年中行事など）

②重さや質感を実際に触れて確認する。

③感想や特徴をまとめる。

参考資料

食事（貴族・役人・庶民）

住居（東三条殿）



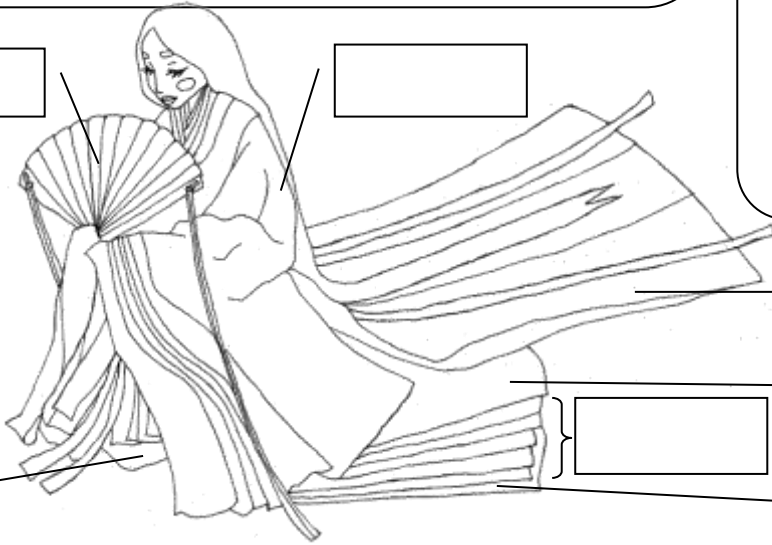
貴族のくらし

～Let's チャレンジ!～ じゅうにひとえ 十二単についてまとめてみよう

○着たり触ったりして感じたこと



○解説を聞いて平安時代について分かったこと



[]

[]

[]

表着

はかま
袴

[]

ひとえ
単衣

【参考資料：東帯と狩衣】



十二単と同じころ、男性貴族きぞくの着ていた衣服です。平安時代以降、この東帯そくたいが、天皇以下貴族くげ（公家）の正装せいそうになります。

普段着ふだんぎとして「狩衣かりぎぬ」という衣服も使われました。

(←東帯)

(狩衣→)



○その他

食事



写真提供 向日市文化資料館

住まい



写真提供 国立歴史民族博物館

対象	小・中学校	社会	武士と鎧
----	-------	----	------

活用できる資料と解説	<p>大鎧と当世具足</p> 	<p>弓と矢</p>  <p>種子島銃</p> 
------------	--	--

博物館での学習例

- ① 2つの鎧の類似点、相違点をそれぞれ観察する。
 - ・形状の類似点や、細部の違いなど。
- ② 大鎧と当世具足の時代の違いについて説明を聞く。
 - ・鎌倉と戦国という時代の違いについて。
- ③ 鎧の着付けを見学しながら、それぞれの鎧の時代背景についての説明を聞く。
 - ・馬上にあって弓から身を守るためのものであったこと。
 - ・集団での戦いと鉄砲への対応など。

※着用は対象の体格を考慮し、大鎧、当世具足のどちらかまたは両方を選択する。
- ④ 感想をまとめる。

参考資料

太刀



刀



【ワークシート例】

武士と鎧

～Let's チャレンジ!～ 鎧についてまとめてみよう



この鎧は
という鎧です



この鎧は
という鎧です

○使われた時代
() 時代のころ
○鎧の主な特徴

○使われた時代
() 時代のころ
○鎧の主な特徴

○その他 (自分で気づいたことや分かったこと)

○その他 (自分で気づいたことや分かったこと)

感想を書いてみよう

栃木県立博物館

年 組 番 氏名

対象	小学校	生活・社会	昔をしらべる(石臼)
----	-----	-------	------------

活用できる資料と解説	<p>① 石臼</p> 
------------	---

博物館での学習例

- ①石臼で大豆を挽く。
- ②石臼の構造を確かめる。
- ③石臼を使って気づいたことや感想をまとめる。

～関連する道具～

- ◆薬研 (体験可)
- ◆すり鉢・すりこ木
- ◆石皿
- ◆おにおろし
- ◆茶臼

それぞれの道具は、説明をきいたり手に持ったりすることができます。

参考資料

薬研



すり鉢・すりこ木



石皿



おにおろし





茶臼



【ワークシート例】

むかし とうぐ
昔の道具をしらべてみよう

道具の名前	メモ
 <input data-bbox="228 775 788 907" type="text"/>	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
 <input data-bbox="228 1330 788 1462" type="text"/>	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

かんそう か
感想を書いてみよう

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

栃木県立博物館

年 組 番 氏名

対象	小学校	生活・社会	昔をしらべる(火おこし)
活用 で き る 資 料 と 解 説	①舞ざり式火おこし器 		②火打石 
博物館での学習例 <p>①提灯やランプなど昔の照明器具について簡単な説明を聞く。</p> <p>②発火法の1つとして舞ざり式火おこし器を使う。 ・煙を出すところまでとする。</p> <p>③火打石による発火の様子を観察する。</p> <p>④気づいたことや感想をまとめる。</p>			
参考資料 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="368 1391 432 1424">提灯 </div> <div data-bbox="722 1391 810 1424">ランプ </div> </div>			

【ワークシート例】

むかし どうぐ
昔の道具をしらべてみよう

○下の道具の名前や使いみちについて、わかったことをメモしておこう！



どうぐ なまえ
道具の名前：

.....
.....



どうぐ なまえ
道具の名前：

.....
.....

○下の道具を使ってみよう！

道具の名前や使ってみてわかったことをメモしよう！！



【メモ】

.....
.....
.....
.....
.....

なまえ
名前

○感想をまとめよう。

.....
.....
.....
.....

栃木県立博物館

年 組 番 氏名

対象	小・中学校	社会科	むかしをしらべる（音楽をきく）
活用できる資料と解説	<p>ポータブルタイプ 蓄音器</p> 		
<p>博物館での学習例</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デジタル音源の曲を聴きながら、音楽を聴く道具の変遷を確かめる。 ②蓄音器についての説明を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・音が出るしくみについて知る。 ・蓄音器が作られたころのようす。 <ul style="list-style-type: none"> →戦時中に栃木県（真岡市）で作られた ③レコードとCDの違いを確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・重さ ・表面の様子 ④蓄音器の音色とデジタル音源の音を実際に聞き比べてみる。 <ul style="list-style-type: none"> ・何枚かのレコードを実際にかけて聞いてみる。 ⑤感想などをまとめる。 			
<p>参考資料</p>			
			
<p>EP レコード盤</p>		<p>ニッポノホン紙ジャケット</p>	

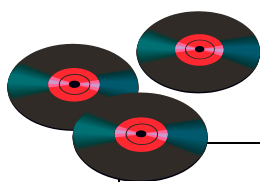
【ワークシート例】

おじいさんやおばあさんが

子どものころの音を聞いてみよう

☆道具の名前をたしかめよう。

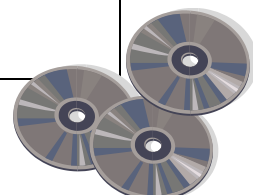
()



☆レコードとCDを比べたら、どんなところが違うかな。

気付いた点を書いてみよう。

Blank rectangular area for writing answers to the comparison question.





☆昔のレコードをきいてみた感想を書いてみよう

Blank rectangular area with four horizontal dashed lines for writing answers to the reflection question.

栃木県立博物館

年 組 番 氏名

対象	小学校	生活・社会	むかしをしらべる(はこぶ)
活用できる資料と解説	<p>水桶・天秤棒</p>  <p>手押しポンプ</p> 		

博物館での学習例

- ①水道の無い時代の水の確保について話を聞く。
※「たらい・洗濯板」と関連付けた解説も可。
- ②水を入れた水桶を持ち上げてみる。
※体力にあわせて実施する。
- ③水を入れた水桶を天秤棒で持ち上げてみる。
・両手で水桶を持ったときと比較する。
※体力にあわせて実施する。
- ④道具を使った感想などをまとめる。

～関連する道具～

◆草刈籠 ◆背負籠 ◆背負梯子 ◆もっこ

参考資料

たらいと洗濯板



～その他の「運ぶ」道具～

背負籠



草刈籠



背負梯子





もっこ



【ワークシート例】

おかし とうぐ 昔の道具をつかってみよう

道具の名前	メモ
 <input data-bbox="228 775 788 907" type="text"/>	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
 <p>「ぼう」のぶぶんの名前</p> <input data-bbox="228 1330 788 1462" type="text"/>	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

かんそう か
感想を書いてみよう

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

栃木県立博物館

年 組 番 氏名

対象	小・中学校	理科	化石ひろい
活用できる資料と解説	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div data-bbox="316 250 692 291">フジツボ</div> <div data-bbox="724 250 820 291">貝殻</div> <div data-bbox="1075 250 1171 291">ウニ</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>		
<p>博物館での学習例</p> <ol style="list-style-type: none"> ①化石についての説明を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・化石についての基本的な説明。 ・拾える化石(貝殻、フジツボ、ウニのトゲ)についての説明。 ②トレイから実際に化石を拾いだす。 <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導し、同定しづらいものなどの質問に答える。 ③取り出した化石を台紙に貼り付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・種類ごとにまとめて整理する。 ④感想などをまとめる。 			
<p>参考資料</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div data-bbox="284 1442 746 1482">貝化石(ホタテ貝など二枚貝の仲間)</div> <div data-bbox="858 1442 1123 1482">ポリ袋に入れた化石</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

【ワークシート例】

か せき ひろ
化 石 拾 い


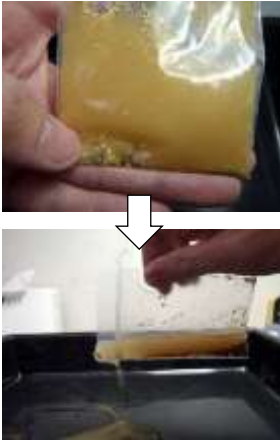

拾いだした化石をスケッチしてみよう	なんの化石だろうか
	----- ----- ----- -----
	----- ----- ----- -----
	----- ----- ----- -----

かんそう か
感想を書いてみよう

----- ----- ----- -----

栃木県立博物館

年 組 番 氏名

対象	小・中学校	理科	火山灰と鉱物
活用できる資料と解説	<p>鹿沼軽石</p> 	<p>火山灰を洗う</p> 	<p>鹿沼軽石に含まれる鉱物</p> 

博物館での学習例

- ① 火山と火山灰について説明を聞く
 - ・何度も噴火を繰り返して溶岩や火山灰などを積み重ねて“山”ができる。
 - ・地下のマグマが膨らんで（発泡して）空に吹き上げられて降り積もったものが軽石。
 - ・軽石はマグマが膨らんだ状態で冷え固まったもの。
- ② 鹿沼軽石を水でこねて鉱物を洗い出し、双眼実体顕微鏡で鉱物を観察する。
 - ・マグマは岩石が溶けた状態のもの。しかしその中に鉱物粒が生まれている。
 - ・真岡軽石や七本桜軽石など、他の軽石を観察すると、鉱物の違いがわかる。
- ③ マグマから岩石が作られるとき、鉱物ができる。
 - ・マグマの組成（成分の違い）によって生まれる鉱物がちがってくる。
 - ・離れた場所の火山灰が同じものか、違うものかを判定する手がかりになる。
- ④ 感想などをまとめる。
 - ・マグマから岩石や火山灰ができる様子を想像する。
 - ・

参考資料

上欠テフラ露頭の様子



【ワークシート例】

か ざん ばい と こう ぶつ
火 山 灰 と 鉱 物

☆火山と火山灰

Blank space for drawing or writing.



☆火山灰の観察

火山灰にふくまれる鉱物をスケッチしてみよう	どんな特ちょうがあるかな。
	----- ----- ----- -----
	----- ----- ----- -----

☆感想かんそうを書かいてみよう

栃木県立博物館

年 組 番 氏名